

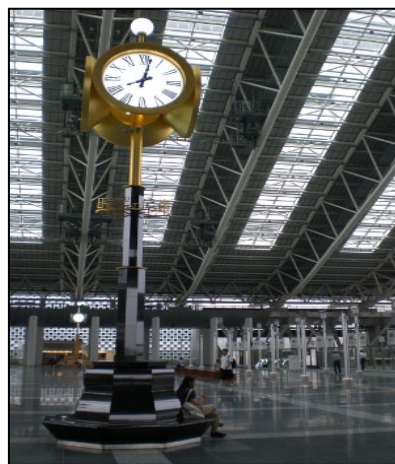
第十二回フオト旬会優秀作品(10月17日)

<自由題>



近眼に
乱視老眼
入り混じり
中村晃也

おいマンション
後からきたのに
威張るなよ
矢澤正二



はじめから
来る人いない
待ち合わせ
浜口須美子

なあトーチャン
「ヒトは優しい」て
あれ嘘やん
三春



フォト575寸評：

中村さん：どうも眼鏡が合わない。加齢とともにいろんな傷害が複合的に顕在化しますね。年はとりたくない。

矢澤さん：農家のトラクターが、後から出来たマンションに対して文句を言っている。視点が面白い。

浜口さん：写真も句も、とてもシックです。説明的でないのが良い。

三春さん：吊るされた蛙の親子の会話。どこの国の話でしょう？

<句 付 け>

10月のお題写真



神無月鬼がそろって大はしゃぎ
お客さん通じませんぜ顔パスは
凄んでも放射能ほど怖くない
鬼ばかり渡る世間はこんなもの

大越 浩平
上山 裕次
濱田 優
矢澤 正二

<寸 評>

今月のお題写真は上山さん出題の、派手な鬼の団体写真でした。瀬戸内海の鬼が島の展示場で会えるそうです。

大越さん：神様がいないので鬼が喜んでいる様子。原句は「神無月鬼ども達が悪だくみ」でした。

上山さん：顔パスが利くのは暴力団と国会議員だけ？

濱田さん：おっしゃる通り。現代世相を捉えています。

矢澤さん：テレビの連続番組をもじったもの。達観している。

今回はひとつの画像から、いろいろな切り口で句がつくられています。今回のように他人とは違う見方を心がけましょう。

次回のお題写真：提供は一席の大越浩平さんにお願ひしました。